

営農ウィークリーNEWS

新規ブランド産品!!!

京はたけ菜 初せり!!!



2026年1月15日(木)、新規ブランド産品「京はたけ菜」の初せりが、京都市中央卸売市場にて行われました。

「京はたけ菜」は、新たなブランド品と

して、2025年10月1日に府内で初となるブランド産地として、当JA管内の京都市伏見区、西京区、大山崎町が指定を受けました。

葉物野菜としてのブランド品目追加は、京みず菜・京壬生菜に次いで約30年ぶりとなります。

「京はたけ菜」のブランド化は、京の伝統野菜の復興、近年の農業生産現場における高齢化と産地規模の減少を改善することが狙いです。



初せりには、当JA管内から、140袋/200g(28kg)が出荷され、170円/袋でセリ落とされました。

京都青果合同株式会社京野菜部の王子博貴チームリーダーは「今年は、播種後の高温により生育が旺盛であったものの降雨量が少ないなど品質への影響が心配されていたが生産者の卓越した技術により高品質な出来栄えとなっている。」と、話されました。

当日は、初せりに合わせて、全農京都、関係者、JA職員らによる仲卸業者へ「京はたけ菜」の浅漬けと、当JAの旬を迎えるブランド産品「花菜」の辛し和えの試食を提供しました。

「京はたけ菜」の出荷は、3月下旬頃まで行われ、出荷量1トンを目指しています!

TAC information

「京はたけ菜」「花菜」首都圏販促実施!!!



1月16~18日の3日間、東京の新宿高島屋にて「京野菜フェア」が開催され、当JA特産「花菜」と、昨年10月に府内初となるブランド産地として認証を受けた「京はたけ菜」の販売促進活動を実施しました。

「京はたけ菜」の歴史やおいしさを、食べ方と一緒に提案することで、「京はたけ菜」を知らない方にも興味を持ってもらえ、販売促進活動は大盛況となりました。

まだまだ、首都圏でも認知度が低い「京はたけ菜」ですが、この様な活動をつづけ、実際に味わっていただく機会を増やしなが、その魅力を一人でも多くの方に伝えていきます。

生産者・JA・関係機関が一丸となり、食卓に自然と選ばれる京の伝統野菜として定着することを目指し、継続的なPR活動に取り組んでまいります!

長岡京花菜部会 目合わせ会開催！



1月13日、乙訓支店で、長岡京花菜部会が出荷目合わせ会を開催しました。

花菜は、伏見桃山で切り花用として栽培されていた寒咲きなたねの蕾を食用にしたのが始まりとされています。

同部会は、平成2年にブランド産地の認証を受け出荷を行っていますが、毎年、出荷最盛期となるブランド出荷開始前の、同時期に目合わせ会を行っています。

当日は、全農京都府本部・公益社団法人京のふるさと産品協会・市場・普及センター・行政・JAなどが参加し、生産者個々に出荷調製した花菜を持ち寄って規格の確認・詰め方などの技術の情報交換が熱心に行われました。

ブランド出荷は、1月14日から開始され、同部会の出荷量は40tを見込んでいます！